

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 19 年 7 月 12 日 (2007.7.12)

【公表番号】特表 2006-527052(P2006-527052A)
 【公表日】平成 18 年 11 月 30 日 (2006.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-047
 【出願番号】特願 2006-516626(P2006-516626)
 【国際特許分類】

B 2 6 B 19/40 (2006.01)

【F I】

B 2 6 B 19/40

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 5 月 28 日 (2007.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

外部切断部材及びマッチする内部切断部材を有する少なくとも 1 つの切断ユニットを収容する皮膚接触面、並びに前記皮膚接触面にシェーピングエイドを供給するためのデバイスを持つシェーピング装置において、前記皮膚接触面の少なくとも一部に設けられたシェーピングエイド保持手段により特徴付けられるシェーピング装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のシェーピング装置において、前記少なくとも 1 つの切断ユニットは、外部環状切断部材を有する回転型であり、前記少なくとも 1 つの切断ユニットの前記外部環状切断部材によって囲まれる前記皮膚接触面に第 1 のシェーピングエイド保持手段が設けられる、シェーピング装置。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のシェーピング装置において、前記第 1 のシェーピングエイド保持手段は、前記少なくとも 1 つの切断ユニットの前記外部環状切断部材によって囲まれる前記皮膚接触面の中心の周りで延在する少なくとも 1 つの隆線を有する、シェーピング装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のシェーピング装置において、前記少なくとも 1 つの隆線は、

- a) 複数の同心の隆線、
- b) 少なくとも 1 つのらせん形の隆線、
- c) 少なくとも 1 つの星形の隆線、
- d) 少なくとも 1 つの花形の隆線、

のうちの少なくとも 1 つを有する、シェーピング装置。

【請求項 5】

請求項 2 に記載のシェーピング装置において、前記第 1 のシェーピングエイド保持手段は、前記皮膚接触面の少なくとも一部にディンプルのパターンを含む、シェーピング装置。

【請求項 6】

請求項 2 乃至 5 の何れか 1 項に記載のシェーピング装置において、前記第 1 のシェーピングエイド保持手段を備えた前記皮膚接触面は装飾キャップの表面である、シェーピング装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のシェーピング装置において、前記装飾キャップはおおむね半球形の形状を持つシェーピング装置。

【請求項 8】

請求項 6 又は 7 に記載のシェーピング装置において、前記装飾キャップは低摩擦の表面を持つ、シェーピング装置。

【請求項 9】

請求項 2 乃至 8 の何れか 1 項に記載のシェーピング装置において、前記少なくとも 1 つの切断ユニットを囲む前記皮膚接触面に第 2 のシェーピングエイド保持手段が設けられる、シェーピング装置。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のシェーピング装置において、前記第 2 のシェーピングエイド保持手段は、前記少なくとも 1 つの切断ユニットの外部固定環状切断部材を囲む少なくとも 1 つの溝を有する、シェーピング装置。

【請求項 11】

請求項 9 又は 10 に記載のシェーピング装置において、前記皮膚接触面は、前記各切断ユニットのためのソケットを持つ皮膚支持部材の表面であり、リング形素子が、前記各ソケット内に配置されると共に、対応する切断ユニットを囲み、シェーピングエイド保持溝が、前記リング形素子と周りの前記皮膚支持部材との接合部に少なくとも部分的に設けられる、シェーピング装置。

【請求項 12】

請求項 11 に記載のシェーピング装置において、切断ユニットを囲む各リング形素子の少なくとも上面は低摩擦の表面である、シェーピング装置。

【請求項 13】

請求項 2 乃至 12 の何れか 1 項に記載のシェーピング装置のための回転型切断ユニットにおいて、当該切断ユニットは、外部環状切断部材と前記外部環状切断部材によって囲まれる皮膚接触面とを持ち、前記囲まれた皮膚接触面はシェーピングエイド保持手段を備える、切断ユニット。

【請求項 14】

請求項 1 に記載のシェーピング装置において、前記少なくとも 1 つの切断ユニットは、穿孔されたフォイルを外部切断部材として持つ振動型の細長い切断ユニットであり、シェーピングエイド保持手段が、前記少なくとも 1 つの切断ユニットの側面のうちの少なくとも 1 つに沿って設けられる、シェーピング装置。

【請求項 15】

請求項 14 に記載のシェーピング装置において、前記側面のうちの前記少なくとも 1 つは、少なくとも 1 つの切断ユニットの少なくとも 1 つの長い側面を有する、シェーピング装置。

【請求項 16】

請求項 14 に記載のシェーピング装置において、前記各切断ユニットのための凹部を持ち、前記切断ユニットに沿って延在するフレーム部分を持つ、フレームが設けられ、前記フレーム部分は、シェーピングエイド保持手段を備えた皮膚接触面を少なくとも部分的に形成する、シェーピング装置。

【請求項 17】

請求項 14 に記載のシェーピング装置において、少なくとも 2 つの切断ユニットが設けられ、前記各切断ユニットは、2 つの隣接した切断ユニット間の少なくとも 1 つの中間皮膚接触面上に少なくとも部分的に延在する穿孔されたフォイルを持ち、前記中間皮膚接触面は、シェーピングエイド保持手段を備える、シェーピング装置。

【請求項 18】

請求項 17 に記載のシェーピング装置において、2 つの隣接した切断ユニットの前記フォイルは、これらフォイルの隣接した縁の間にストリップ形領域を形成する中間皮膚接触

面上で延在し、シェーピングエイド保持手段が、前記ストリップ形領域に設けられる、シェーピング装置。

【請求項 19】

請求項 14 乃至 18 の何れか 1 項に記載のシェーピング装置において、前記シェーピングエイド保持手段は、前記細長い切断ユニットに実質的に平行に延在する、隆線及び／若しくは溝、又は、ディンプルのパターンを有する、シェーピング装置。

【請求項 20】

請求項 17 又は 18 に記載のシェーピング装置の少なくとも 1 つの切断ユニットのためのフォイル形外部切断部材において、当該フォイルは、2 つの切断部材部分間に少なくとも 1 つの中間皮膚接触面を持ち、前記中間皮膚接触面は、シェーピングエイド保持手段を備える、切断部材。

【請求項 21】

請求項 16 に記載のシェーピング装置のためのフレームにおいて、前記フレームは、少なくとも 1 つの細長い切断ユニットのための凹部を持ち、更に、前記少なくとも 1 つの切断ユニットに沿って延在するフレーム部分を持ち、前記フレーム部分は、シェーピングエイド保持手段を備えた皮膚接触面を少なくとも部分的に形成する、フレーム。

【請求項 22】

前記シェーピングエイド保持手段は、細長い隆線及び／若しくは溝、又はディンプルのパターンを有する、請求項 14 乃至 19 の何れか 1 項に記載のシェーピング装置。

【請求項 23】

前記シェーピングエイド保持手段は、細長い隆線及び／若しくは溝、又はディンプルのパターンを有する、請求項 20 に記載のフォイル形外部切断部材。

【請求項 24】

前記シェーピングエイド保持手段は、細長い隆線及び／若しくは溝、又はディンプルのパターンを有する、請求項 21 に記載のフレーム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、外部切断部材及びマッチする内部切断部材を有する少なくとも 1 つの切断ユニットを収容する皮膚接触面、並びに前記皮膚接触面にシェーピングエイドを供給するためのデバイスを持つシェーピング装置に関する。